

ポプラの木

作詞、作曲：Dai-Go!Low

真っ暗だ駅に降り立ち僕は一人立ち尽くす
目の前に見えた傷跡の砂利道6年経っているのに

地べた自販機の明かりが一つ照らされて
覚悟を決めてギターをとりだし闇に奏でる。

反響された音に子供のハミングのような
声が聞こえてきた不思議と暖かい

ポプラ悲しみを背負い今も

ポプラ息をしてる星の下で

瓦礫を集めたオブジェスタンドの跡地にある
潮目は子供達の遊び場わいちさんの手作り

たくさんの星の下で大きなポプラの木
幻想か現実か？目の前にそびえ立つ

反響された音に子供の笑い声が
風が吹いていた不思議と暖かい

ポプラ三度の津波にも耐えて

ポプラ息をしてる星の下で